

寺報

龍正寺

日なた 156号

唱題
日延



<令和 3年 5月>

宝龍会
護持会

住職一言 (當體蓮華鈔より)

南無妙法蓮華經

なかなか終息しない、新型コロナウイルス、日常の生活を变化
思う様になりません。新しい出来事に老人はついていけない、
その中前向きに考えて行かぬば」と思っています。今ワクチンの接種が
始まり少し明るく思っています。苦があれば必ず楽があるの
ではないでしょうか。

宗祖日蓮大聖人 御遺文、當體蓮華鈔より

「正直に方便を捨てて但だ法華經を信じ、南無妙法蓮華經と唱ふる人は煩悩・業・苦の三道、法身・般若・解脱の三徳と転じて、
三觀・三諦即一心に顯れ、其の人の所住の處は常寂光土なり。能居・所
居・身土・色心・俱體俱用・無作三身の本門壽量の當體蓮華の佛とは
日蓮が弟子檀那等の中の事なり、是即ち法華の當體自在神力の顯す所
の功能なり敢て之を疑ふべからず、之を疑ふべからず。」

「解説」正直に方便教を捨てて、ただ偏に法華經を信じ、一心に南無
妙法蓮華經と唱ふる人は煩悩・業・苦の三道の迷も法身・般若・解
脱の悟の三徳と転じ、三觀の智も三諦の理も行者の一心の上に顯は
れ、行者の住處はそのまま常寂光土である。居まう行者の身も居まはれる國土
も、精神も肉體も本體のままの徳用が顯はれ、自然に法・報・應三身

の如來の徳が具はり、本門壽量品の當體蓮華の佛となる。しかしながらこれは日蓮が弟子檀那等の行者に限られていること、その源は法華經の自體に具はる自在神力の顯はす功德によるのである決して疑ってはならない。疑ってはならぬ。

宗祖日蓮大聖人は南無妙法蓮華經の功德を私たちに説かれておられます。

法華經の教えを信じて、お題目を唱える事で、自分自身の中にある業がうすれ、思わぬ功德が受けられると思ひます。

合掌

南無妙法蓮華經

「大難は小難,小難は無難」

あふは今から少し前の事で... 春季彼岸が明ける3月23日。
朝食を済ませた私は日課であるトレーニングへの準備をしま
いました...

その時に自身の身体の腹部中央に異変を感じ不快感と
痛みと鳴咽が発症しました。

午前中に自宅前の町医者で診察してもらった「胃けいれん」
との事で薬を貰い様子を見ました...

しかし.. 時間が経つに連れ起き上がれなくなりました。
時間は深夜の2時になりそれも我慢しました...

2階で眠る妻を起すのも忍びなく... 救急車を呼ぶのも
近所迷惑に對すると思い「朝になったらタクシーで市民病院に行く」
と我慢しました。

その時に... 2階のトイレが水の流れる音が聞えて来ました...
私は今しかないと思い... 妻に携帯電話を借りてぐぐぐに和室に
来てくれ事情を話すと小牧市民病院の夜間緊急外来に
連れで行って診察を受けました。

すぐに血液検査とCT検査をしました... それで先生からは

「盲腸です。何故もっと早く来たのですか? 破裂するといけません!」
と告げられ...

翌日の外科医で再度診察以下さいとの事でした。

点滴と抗生剤でその夜は緊急処置を取り帰宅しました。

朝食後の腹痛から18時間を経過しました。

私は手術する覚悟で診察に行き、
会社に向かう妻に一週間の食費代を瘦い病院に行くと
再度CT検査と血液検査をしたら...先生からは
「盲腸の部位も小さくなっているし...血液検査も異状だから
薬で大丈夫だよ...」との診断でした。
昨夜の激しい痛みからは想像出来ない結果となり
少し拍子抜けした気持ちで帰宅しました。
夕方に帰宅した息子は「もう手術終わったの??」と笑っていました。

後日、この内容を佐伯人に告げると...
「仏様からのメッセージである」と教示されました。
私は言われた意味さえも理解出来ませんでした..
しかしその後もおと人は何度も同じ事を教示され
私自身で深く考えました。

春季彼岸の最終日に..偶然でもたまたまでもなく
仏様が私自身に「仏の力を信じろさい、お題目の力を信じろさい」
というメッセージを送って下さる様に思いました。
それは逆に言えば私がまだまた信仰心が足りない事を
意味するメッセージでもあり。
大難は小難、小難は無難
私は自身の身を以て体験する事が出来ました。

南無妙法蓮華經

「死んだらおしまい
ではなかった。」

「死んだらおしまいではなかったの本を読み
ました。」

死んでも心は変わりません

心は今のまま だから生きていふ日常が
何より大切であることがわかっている

2千件を越す葬儀によって死者の
霊と実感されたそうです。

わか家も

主人の父も母も主人も送りました

あちらの世界より色々心配をしてくれておに

ちがいありません

遺族の祈りの心^{込め}等、追善供養と届け

させていただけかわばです

心からの供養とあしう 私たち家族が

ぶじで健康での暮しとながめたくおぼして

よる:していてもら.はわは.ないす
仏法の学びをいただき 学びの中より善き
心かけで良き 魂いと磨いてゆくことが
あの世へ、続いてゆくことと思ってみます

すべてが大切なご縁と学びます

いいとか 悪いとかはその時には解らなくても
後になって それらのことが 尊い守護のおかげ

きまで あつたことに気づかせていただけます

ことが何ともありました

安心とは「信仰は力なり」の中に有るように

思ってみます

死んでも無いならず 自分の存在は有り

続けてゆくようです

仏法の学びより自分自身が体験と体得を

してゆく心の思いが本物になってゆくようです

お寺での仏法の学びが 何より何々の

心の宝でございます
あせらず あわてず あきらめず じっくりと
考えての行動が80才の今のわたくしでござ
います

そして 素直に
真面に
真剣に } 心よりのお題目を唱えて
ゆく日々が大切であふほど
学ばます

よき道と正しく歩かせていただきる心が
家族の足元に続いてゆくことを祈り
願がってゆきたく存じます 尊い大切な

日々にうれしい笑顔 たのしい笑顔
よろこびの笑顔で 明るくふるまうことで
心が明るくなるようです 是れ何事と
喜んでゆきたく存じます

南無妙法蓮華経 合掌

『ふりかえり』

あなたには、頑固ではありませんか。

人の言う事を聞かないところがありませんか。

自分の中にある、つまらないこだわり、間違った信念、プライドがあったら、捨ててしまいなさい。

他人の欠点はすぐ分かって、自分の欠点は気づきにくいのです。

注意されたら怒らずに、素直に身を傾けてみましょう。
間違いを素直に認め、素直に改めましょう。

上記の文章は、とある本の一文です。

お寺では、この内容に気づき修正していく場であると改めて思いました。

私は過去、お上人より注意をされると怒りが出て、気持ちが悪くならず何回か帰って行く事がありました。

ひどい時は、トイレから出て行くという事をしていました。

特に、素直に認め改める事が出来ず、時間がかかりました。

これまでとは、違った事を身につけるまでは、気長に努力する事が必要となります。

この気長という所が大事で、結果をすぐに求めたくありませんが、信仰というのは、日々気づき成長していく事だと思っています。

なぜ、いろいろな出来事が起こるのか 振り返り考える事で、おのずと答えがわかってくると思います。

しかし、相手が悪いなど人のせいになっている間は何も変わらず、本人が気がつくまで同じ事象が起こるという事をお寺で学びました。

まだ、未熟な私ではありますが、今この現世で生かされている事を念頭に日々起こる事は、私に何か足りない所、気がついてない所を教えていたのだと思っています。素直な心で精進していきます。

✿ 春のお彼岸

暖かく過ごしやすい日々が続いていますね。コロナ禍で
まだまだ気が張っています。ストレスを溜めない様
過ごしていきたいです。

娘が就職のため大阪に転居して、早いもので
1ヶ月経過しました。娘はホームシックになるんじゃ
ないかと心配しましたが、お陰様で、新生活に慣れ
るのに精一杯、仕事にやりがいを感じている様子で
今のところ大丈夫のようです。私は今までと同じ量の食事を
準備してしまったり、連絡がっとながらなくて、ソワソワ
したりと、まだ落ち着きが戻っていません。

昔と違って、今は顔を見て通話ができたり、メール
を送信しても、見たいかどうかかわったりと、とても便利
になっています。

先日の春のお彼岸の際、娘はまた仕事が始ま
る前だったので、お墓参りの時はリモートでっなぎ
家族全員で手を合わせることができました。

お彼岸は、ご先祖様の供養は勿論、自分自身
を見つめ直す1週間でもあります。「布施」「持戒」
「忍辱」「精進」「禅定」「智慧」の6つの修業を
行うことで、彼岸に近づくことができると言われています。
まさに今年の春のお彼岸は、この「六波羅密行」を
意識する日々となりました。一人暮らしで大変な
娘のためにできること、手作りのおかずを何品か冷
凍し、送ってあげたり、びの乱れを鎮め娘の安全
を祈り手を合わせました。娘は、目標や夢に向
かって日々精進しています。

普段の生活では、特に意識せずに行なっている事
も、お彼岸を通して振り返ることができ、私にとって
は今までで一番と言っても過言でない程有難さを
感じた1週間となりました。

今後も、娘と共に精進していきたいです。

南無妙法蓮華経

～ 思いやりのある話し方 ～

人と人との係わる中で、"言葉の使い方、とても難しいと思います。自分では良いと思いい伝える言葉も、受け取る側からすると、不快であったり心が傷つく時もあります。

今、コロナの影響もあり人と人とのふれあい、コミュニケーションが減少するなかで、言葉は以前より、なお丁寧に使わないといけないと思います。

相手の立ち場や思いも考えて話す事が大切だと思います。
"そんなつもりで言ったつもりではない!". としても出した言葉を戻すことは出来ません。

仕事上、コミュニケーションを必須としているので、話す言葉はとも考えます。気持ち良く受け取って頂ける様に話しかける。

その事がお互いの信頼関係を深く繋いで行く。

寺院での給仕も同様です。弱輩ながら役員をさせて頂いていますが、壇信徒の皆様が心地好く参拝して頂けるようにと思っています。

コロナの影響を受けてなかなか参拝への足が退く中、日蓮大聖人のお膝元へ来られる方々に、"あー来てよかった。"とあって

頂けように …。

コロナ対策もできるだけの対応をさせて頂いておりますが、

その事ばかりになり、大事な思いやり・配慮に欠ける事のない

給仕に務めたいと思います。

御題目を唱えると、心が穏やかになっていきます。

そして、今までにない気がきが頂けます。

自分の思いだけを言葉にして伝えるのではなく、優しさ

温かい思いを包みこんだ言葉を使いたいと日々意識して

いきます。

… 変化を恐れる事なく …

コロナウイルス 2回目の5月になりました。

昨年の今頃、来年の5月にはいつもの生活に戻ると信じていましたが…。状況は悪化の道をたどっています。コロナウイルスがどんどん変異していくなかで、私達も何かを変化させて生きていかななくてはならないと強く思います。

会社の中でも色々な変化があります。給与明細電子化、オンライン会議等…。

環暦の近い身としては、新しい事を覚える事はお、とうでなかなか新しい事柄にトライする自信がなく、後ろ向きになりがちです。

“あ～時代の流れについていかないと…。社会の中で生きていくのは大変。”これが本音です。

しかし、新しい事を習得できると今までと違った価値観や、今まで気づけなかった自分自身と出会う事も出来ました。

変化(わらわ) 苦手と思う前にチャレンジする気持ちを持つ

ちたいと思います。

いつも出勤前に寺院へ日参しています。

今日も一日楽しく過ごせませう様に…と手をあわせませう。

何事もない平穏な一日も大切ですが、変化のある

この世の中でどのような時にも、楽しい日々を過ごせるように御題目を唱えています。

御題目を唱えると心は安らぎ、活気に満ちあふれて来るでしょう。

これから何事も恐れる事なく、明るく楽しく生きていきたいと思います。

< 5月の行事予定 >

5月13日(木) 10:00~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会
伊豆法難会
大古久尊天祈願会

5月18日(火) 10:00~ 鬼子女尊神
七面大明神) 祈禱会

※ 案内致しましては、5月5日に予定してありましたが、
子供祈禱会は、本年度中止とさせていただきます。

< 5月住職の予定 >

寺院にて法務

5月29日(土) ~ 30日(日) 身延山へ予定

< 5月の予定 >

5月6日(木)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
12日(水)		
13日(木)	法要後	片付け準備
14日(金)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
17日(月)		